

# Shima High School Patrol～アフターG7～（三重県）

【伊勢志摩サミット警備で感じた安心感を引き継いでいきたい】

## 活動経緯と団体概要

平成28年5月、伊勢志摩サミットが志摩市で開催されました。たくさんの警察官やサミット関係者が全国から警備に來られ、当日には道路5～10mの間に警察官が一人ずつ警備するという、ものすごい警備体制を目の当たりにしました。そこで、私達にも何かできることはないかと、みんなで朝のあいさつ運動をすることになりました。

あいさつ運動では、パトカーや警察車両の方が手を振ってくれたり敬礼をしてくれたり、マイクであいさつを返してくれたり、わざわざドアを開けて大声で「おはよう」と答えてくれる方もいました。

サミット終了後、全国の警察に「サミット警備お疲れ様でした」と手紙を送ったところ、お礼の電話や手紙をたくさんいただき、人と人のつながりの大切さやすばらしさを教えていただきました。しかし、賑やかだった町が静かになり、警備をしてくれた方々がいなくなり、これから犯罪が増えるんじゃないかという不安が頭をよぎりました。そんな中、鳥羽警察署から、本校の生徒会に「いっしょに防犯活動をやりませんか。」とお誘いをいただき、何か1つでもできることがあればという思いで、活動を始める決意をしました。

まずは、生徒会以外のメンバーを集めることと、チームの名前を考えることから始めました。チーム名は、一生に一度の経験である伊勢志摩サミットで感じた様々な思いを込めて、伊勢志摩サミットの名前を入れることにし、サミットの大規模警備の後は自分たちが志摩を守るという意味も含め、「Shima High School Patrol ～アフターG7～」に決定しました。

お揃いのベストは防犯協会の方が用意してくれ、マークは地元のデザイナーさんが、高校生のアクティブさ、楯の下にあるイカリはチームの信頼と安定、真ん中にある灯台は犯罪を未然に防ぐために周囲を照らす光、「H」の上にある丸型は真珠をイメージし、「Shima High School Patrol ～アフターG7～」によって守られるべき「志摩」を象徴するものとしてデザインしてくれました。



Shima High School Patrol～アフターG7～発足と、イメージマーク



初めてのキャンペーン活動 ①

## 活動内容

### ○平成28年度の活動

10月、隊員数34名で発足式を行い、隊長が鳥羽警察署長に結成宣言を行いました。発足式は新聞やニュースでも取り上げられ、みんなに今後の活動を期待されているという大きなプレッシャーとなると同時に、これから頑張ろうという気持ちになりました。発足式の後で、早速キャンペーン活動をしました。

11月、たばこ組合と鳥羽警察署と未成年者喫煙防止キャンペーンをしました。この頃私たちは1年生だったので、キャンペーングッズをもらっていた側でしたが、今ではキャンペーンを実施していく立場として、アイデアを出し合っていきたいと考えています。

12月、年末年始特別警戒取締り出動式に隊長・副隊長と合わせて4名が出席しました。出動式の後、鳥羽警察署前で「みるみるウェーブ」活動をしました。参加することで、安全・安心のまちづくりのために、ボランティアをはじめたくさんの方が関わり、活動が成り立っているということがわかりました。これからも、小さなことでも進んで積極的に取り組んでいこうと思いました。

○平成29年度の活動

新隊員36名入隊。

特殊詐欺被害防止キャンペーンへ参加し、今回の活動から、看板を作成しました。看板・標識は、パッと見て何の活動をしているのかがよくわかり、活動の目的を伝えるのに効果的です。今後、私たちの看板も工夫をするとともに、地域全体で取り組んでいく必要があると思います。

9月は日没時刻も早くなるので、自転車の無灯火走行禁止の呼びかけや早めのライトオンとマナーアップを呼びかけました。

年末年始特別警戒取締り出動式では、隊長が市民を代表し、誓いの言葉を述べさせていただきました。私達が小学生の頃から登下校の見守り活動が続けてくれているボランティアの皆さんも参加されていて、改めて感謝をしなければならなかったと思いました。出動式後は、「みるみるウェブ」を実施しました。

2月14日、鳥羽警察署と一緒に、特殊詐欺被害撲滅キャンペーンを実施しました。バレンタインデーにちなんで、配布物の中にチョコレートと、自分たちで考えた「甘い誘惑、負けないで。チョコッと疑いかけてみて。」「その決断、一歩止まって考えよう。」などのメッセージを入れました。

○平成30年度の活動

新隊員34名入隊。9月には更に5名が入隊。

全国地域安全運動ポスター標語へ応募をしました。応募した標語は、「自転車は鍵をかけよう二段階」「志摩はドロボウゆる志摩せん」「勝手にサザエをとら志摩せん」「志摩で犯罪とり志摩り」「志摩で車は鳥羽志摩せん」。

夏の交通安全県民運動出動式では、1日警察署長として活動させていただきました。恒例の「みるみるウェブ」も、今回は署長としての参加で、いつもよりずっと気合いが入りました。

夏休みには、美術部や漫画文藝研究部と協力し、交通安全や特殊詐欺被害防止のポスターを作成しました。完成したポスターは、市役所や自治会などに掲示してもらっています。また、市内に住む高齢者のお宅を訪問し、特殊詐欺被害防止の啓発活動も行いました。

今後の課題と解決に向けた取組方策

学校周辺・通学路清掃活動にも参加しています。1つのゴミは次のゴミを生み、そしてどんどん増えていき、ゴミの山ができます。汚い環境は、犯罪も生んでしまうと思います。清掃活動も安全・安心のまちづくりの1つとして、積極的に活動していきたいと思っています。

私達は、自然景観に恵まれた伊勢志摩国立公園の中で暮らしています。志摩市民の多くは、観光の仕事や、観光客に美味しいお魚を提供する漁業に従事しています。環境が悪化すれば美味しいお魚もいなくなってしまう、人も訪れてくれなくなるでしょう。環境だけでなく、人の心もきれいにするのも大切です。人と人とのつながりを強化し、防犯意識を広げていくことが、安全・安心につながっていくと思います。

看板を作成しアピール「大きく伝えよう」



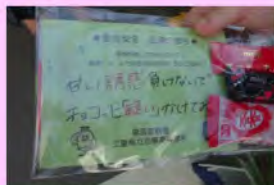
- ・交通標識のように看板や標識は、**パッと見て理解**できる。
- ・遠くからでも、**何の活動をしているのか認識**してもらうことができる。
- ・チラシや、ティッシュのPRも、**効果があるようだ**。



「みるみるウェブ」



配布物も工夫して、自分たちでメッセージを考えてみることに...



私たち3年生が中心となる活動がはじまる。

鳥羽警察署の1日警察署長として  
夏の交通安全県民運動出動式に参加

